

ごあいさつ



向上を望む青年経済人の皆様へ

2006年度 社団法人淡路青年会議所
理事長 杉浦 正和

青年会議所運動は、戦後の混沌とした時代背景の中、「新日本の再建は我々青年の仕事である」と志を共にする若者が立ち上がりました。今、日本全国 727 の地域で約 43,000 人・全世界 112 カ国で 27 万人のメンバーが「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「明るい豊かな社会」の実現を目指し活動しています。社団法人淡路青年会議所は、日本で 237 番目の青年会議所として誕生し、設立以来「淡路はひとつ」を基本理念と考え、常にその時代の環境変化に即応した様々な事業を通して、淡路島がさらに魅力ある島、「明るい豊かな淡路島」になればと考え、活動を続けています。

私たちは「地域、年齢、業種を超えた人との出会い」と「自己研磨」を重ねる事により「人に対する思いやり」そして「リーダーとしての自覚」「人の役に立てる喜び」等を日々の活動を通して習得しています。

皆さんはこれからの激変の時代で様々な活躍をしていく青年であると同時に、企業人でもあります。企業が立派に成長していくためには、まず自らが成長していかなければなりません。志が同じ仲間と活動を通して素晴らしい出会いと感動を得ながら、自らの資質を高めるのも青年会議所のよさです。

青年会議所は、あなたのこれからの「地域活動」「経済活動」に必ずプラスになると確信しています。たくさんのチャンスを私達と共にはぐくみ、共に歩み始めようではありませんか。皆さんとお逢いできることを心待ちにしています。

感謝 感激 感動

～すばらしい明日のために～

青年会議所(JC)とは

「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった年齢20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。

人種・国籍・性別・職業・宗教の別なく、自由な個人の意思により、その居住する各都市のJCに入会できます。

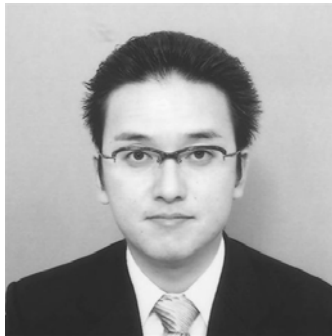
約50年の歴史を持つ日本のJC運動は、めざましい発展を続けておりますが現在約750箇所に5万人を超える会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、70数力国に国家青年会議所があり、約50余万人が国際的連携を持って活動しています。

JCに入会するとこんなメリットがあります

- 淡路島全域に親友と呼べるような友人がたくさんできます。
- JCは世界的な組織なので、島内だけでなく、全国に、さらには世界中に友人の輪を広げることが可能です。
- 現在活躍されている様々な業種の会員と交流できます。そしてあなたの会社経営の参考にすることもできるでしょう。
- 各方面で活躍されている著名な方々の色々なお話を聞くことができます。
- 各会議において議論することにより、指導力・表現力・度胸などが自然と身につきます。
- 時間の使い方が上手になります。
- まちづくりをあなた自身で考え、地域社会に貢献し体験することで、新たな感動を味わうことができます。
- 以上のような色々な経験を通して、個人の仕事に幅が広がります。

2006年度 淡路青年会議所 委員会紹介

理事長公室



公室長 後藤 英範
入会年数 5年目

理事長の秘書・専務理事の補佐としての役割を担い、また各会議（三役会・理事会）の設営などを行っている委員会です。

委員会の業務的には少し固いイメージが湧くかも知れませんが、委員会メンバーはお互いに打ち解け合いながら、いつでも「やるからにはとことんやる」をモットーに運営しております。

皆さんと共に活動できることを楽しみにしております。そして入会した時には、是非私どもの委員会にも足を運んで下さいね！

共に苦しみ 共に楽しみましょう!!

Digital Chamber 委員会



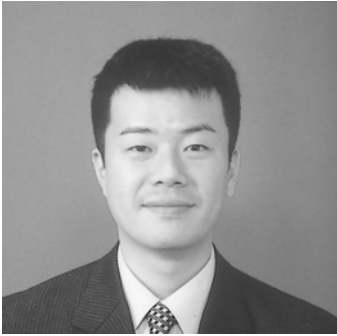
委員長 柏木 敏孝
入会年数 4年目

総務・広報的な役割をいただいた当委員会では裏方の道を極めるべく、特にインターネットを活用した情報インフラの整備に力を入れ会員の皆様のよりスムーズな JC 活動をサポートし新たな可能性を模索・提案することを目標としています。ちょっと変わった委員会名ですが、JCとは Junior Chamber の略で日本語だと青年が会議する所ですのでデジタルでのチャンバーを足せばより効率的で充実した運営ができるとの思いからです。

個性派ぞろいの委員会で、重い内容からどうでもいい事まで日々激論が交わされていますが業種の壁を越え（つまり人生観が違います）40歳までの限りある濃厚な時間の中で語り合えることはこの先の人生を考えても貴重な経験だと思います。

参加しないと損ですよ!

会員交揚委員会



委員長 真野 貴司
入会年数 6年目

淡路青年会議所の会員・OB・会員の家族との交流を図ることを目的とし、新年会・淡路島まつり踊り大会・家族忘年会などの事業の企画・運営を行う委員会です。

本年度理事1年目ということもあり、委員会でさまざまな意見を頂くことで、日々新たな気づきや発見があり、「感謝」の気持ちを持って委員会を開催しております。

より良い事業になるべく委員会メンバーが一丸となって事業を開催いたします。皆さんと一緒に事業を通して、気持ちが「高揚」していけることを楽しみにしています。

共に交わり、共に学びましょう!!

チャレンジ委員会



委員長 上村 雄二郎
入会年数 6年目

チャレンジ委員会は、会員育成の為の研修事業を担当する委員会です。今年度は皆様と熱い一時を過ごし、自分自身の限界を超えることで、心と体を一回りも二回りも大きくして頂けるような事業に出来るようチャレンジしていきたいと思っております。メンバー皆さん一人一人の力をフルに出し切り、熱い思いをもってチャレンジしましょう!

私達と一緒に自分の限界にチャレンジしましょう

ネットワーク委員会



委員長 齋藤 新太
入会年数 4年目

淡路青年会議所として、毎月1回第2水曜日に開催される例会の企画・設営・運営を行っております。

委員会では、よりよい例会設営、出席率向上を目指し、一丸となって時には楽しく、時には厳しく、積極的な討論を行っております。

いつでも気軽に遊びに来てください!!

青少年育成委員会



委員長 畑野 信行
入会年数 10年目

当委員会は、その名のとおり青少年の健全育成を推進する委員会です。

理事長スローガンの「感謝 感激 感動 ~すばらしい明日のために~」を念頭に置き、今の時代の青少年を軸に、そこに関わる保護者・教育者の皆様すべての関わりを深め、私たちの住むこの素晴らしい淡路島の時代背景や先人たちが今に残し伝えられてきたメッセージを共に認識することで、すべての人や物に感謝の気持ちを持てるきっかけとなる事業を行います。

皆様と一緒に淡路島の未来のために!!

NEXT ONE委員会



委員長 徳脇 浩次
入会年数 10年目

当委員会は、NEXT ONE（次世代の淡路島の創造）を考察して、より活発な淡路島を作り上げることのできる事業を、提案・実行・成功することがミッションであります。

委員会は10人のメンバーで構成され、のんびりとした雰囲気、週に1回ほど開催しております。放課後は会食をしながら、時には熱く、時には楽しく語り合っております。

社会人になれば、学生時代のような、新たな交友を深めるチャンスが少なくなっているかと思いますが、そのチャンスが、淡路青年会議所にはあります。

あなたにとっての、新しい社交場の扉を

拡大MAX委員会



委員長 中西 仁志
入会年数 6年目

淡路青年会議所として、『明るい豊かな淡路島作り』を目指し、日夜会員を増やす為にJCの素晴らしさを伝える事が主な仕事です。

委員会では、自らがMAX行動のもと、積極的な討論を行い熱い!!思いを持ったメンバーが集まる委員会です。

MAX関わりを持ち委員会後の食事也大いに熱く盛り上がり楽しい委員会です。

一度我が委員会を見て頂ければ、必ずや得るものがあるはずですよ!?

皆さんとMAX関わりを!!

淡路青年会議所主な事業内容

大淡路島祭り (1998年度 平成10年)



淡路文化委員会

委員長 杉本 明義(2005年卒)

平成10年11月1日(日)、三原町市の三原町健康広場において島内各地のだんじりが初めて一同に集合する「大淡路島祭り」を開催しました。集まっただんじりとみこしは約50基。ずら

りと並んで豪華さを競いました。また会場中央部ではだんじりによる「練り」なども披露され、島内外からたくさんの見物客が集まり、会場は移動も難しいほどの盛況ぶりでした。

淡路一市島民フォーラム アーク99 (1999年度 平成11年)



淡路一市啓発委員会

委員長 中村佳史(2003年卒)

平成11年7月24日(土)、洲本市民会館において「淡路一市島民フォーラムアーク'99～くにつくりは再び淡路から～」を開催しました。野田自治大臣が

「21世紀の地方自治のあり方」という題で講演。引き続きパネルディスカッションが行われ、小久保北淡町長や森南淡町長が、淡路島の望ましい合併のあり方について討議しました。

環境フォーラム (2000年度 平成12年)



環境問題委員会

委員長 藤江 昌昭(当時34才)

平成12年9月23日(土)、淡路夢舞台国際会議場メインホールにおいて開催いたしました。島内の住民や環境問題に取り組まれている他団体の方々と、淡路島の問題はもとより地球の将来を見据えた環境問題について現状を十分認識し、未来への危機感を感じることで、環境に優しい行動に結びつけるための一歩となることを目的に「環境フォーラム」を開催しました。

大淡路島同窓会 (2001年度 平成13年)



まちづくり委員会

委員長 村上 明義(当時35才)

平成13年10月7日洲本市民会館において島民に「淡路人」を再確認して頂く為に開催いたしました。島内出身の著名人、三洋電機会長の井植敏さん、NHK徳島放送局長他の基調講演や淡路島出身の俳優渡哲也さん、大地真央さんのビデオメッセージも流され大変なにぎわいのなか行われました。島民として一体的なつながりを感じ、淡路島のアイデンティティーと存在意義を改めて考えるきっかけになった事業です。

淡路島ルネッサンス2002 (2002年度 平成14年)



淡路郷土委員会

委員長 木下 学(当時33才)

伊弉諾神宮にて「淡路島ルネッサンス2002」を開催しました。淡路には何もない……。地盤沈下が……。との声を払拭すべく淡路島の歴史、文化面での魅力を再発見・再発信する事業として企

画いたしました。「ゆず」の北川悠仁さんや山口崇さんなどの多くのタレントにお越しいただき約3000名の方々に参加いただき盛大に終えることができました。

AwajiJCカップドッジボール大会

(2003年度 平成15年)



青少年開発委員会

委員長 中川 浩明(当時34才)

平成15年6月21日(土)南淡町文化体育館において、Awaji

iJCカップドッジボール大会を開催いたしました。行政の枠を越えて友情を深めることを目的に北は岩屋から南は沼島まで42チーム600名の参加が得られ白熱した大会になりました。

親子いっしょに！！～思い出をいつまでも～



(2004年度 平成16年)



青少年育成委員会

委員長 中田 勝哉(当時37才)

平成16年6月26日、27日と陸上自衛隊今津駐屯地で戦車の乗車やオリエンテーリングなど親子一緒に様々な体験をして頂きました。家庭での対話や団樂の機会が薄れているといわれる今、親子の会話やふれあいの場を提供し、共に活動して、いつまでも忘れることがない貴重な体験をして頂くことを目的とし開催しました。

わんぱく相撲淡路場所 ～めざせ！両国国技館～



(2005年度 平成17年)



理事長公室

公室長 池澄泰彦(当時29才)

5月5日のこどもの日に小学生を対象に、青少年の健全な育成と、淡路島民の方々に相撲の楽しさを魅せるために洲本市民広場に特設土俵を設け「第11回わんぱく相撲淡路場所」を開催いたしました。女の子も含む59名のわんぱく力士に白熱した取り組みを魅せていただきました。

Let S challenge your dream!!

～未来の君を見つけよう～



(2005年度 平成17年)



社会開発委員会
委員長 新田 義隆(当時37才)

平成17年8月21日(日) 学校法人柳学園にて子ども達の未

来像の一つとして、職業に的を絞った事業を開催させて頂きました。当日は、156名の子ども達に参加して頂き、北原照久氏の基調講演、人気のある職業10業種に別れての講話・体験、そして、最後に当日子ども達の感じたことをそのまま感想文として書いて頂きました。非常にハードな内容ながら子ども達には貴重な経験をして頂いたと考えております。また、当日の風景(写真・動画)や書いて頂いた感想文等を将来また紐解いて頂くため、DVDとして作成・配布させて頂きました。

淡路島フィルムオフィス (2005年度 平成17年)



淡路活性化委員会

委員長 新谷 隆文(当時38才)

平成17年10月21日(金)ホテルニューアワジにて「淡路島の魅力」を映像というメディアを使って発信し、淡路の活性化を目的とする事業を行いました。

当日は、映画監督の篠田正浩氏、神戸フィルムオフィス代表田中まこ氏に基調講演を頂き島内の行政関係者、各種団体の多くの皆様に参加協力を頂き盛大に行われました。

卒業生からのメッセージ

谷村 誠 先輩



1962年3月8日生
社会福祉法人みかり会 理事長

JC歴15年

人の成長は、人との関わりです。

人の成長の基本は、人と人との関わりです。そのことを相互作用と言いますが、人としての「生きる力」即ち、知性や感性を培うのには、教えたり、教わったりという異年齢、異世代、異業種など、その関わりは多様な方が良い、とされています。

本気の活動の中からこそ本物の学びが...

社会人としてそのような学びの機会を与えてくれるのが青年会議所であり、経営者としても得るものが多い組織です。家庭や会社との両立は少し努力が必要かもしれませんが、悔いの無い時間を過ごすことが出来ると思いますので、扉を開かれることをお奨め致します。

社団法人 淡路青年会議所

淡路 JC での活動

1988年	青少年開発委員会
1989年	例会委員会副委員長
1990年	会員委員会副委員長
1991年	指導力開発委員会
1992年	理事・理事長公室
1993年	理事・一市推進委員会委員長
1994年	
1995年	出向理事・淡路ビジョン委員会
1996年	副理事長
1997年	理事長
1998年	直前理事長
1999年	特別顧問
2000年	法制顧問
2001年	特別顧問
2002年	監事

主な社会的活動

青年会議所活動は必ずやあなたの人生の役に立つはずです！！

青年会議所Q&A

Q1

「色々とお金がかかりませんか？」

入会3年目の廣井(32才)がお答えします。お金は考えていたほど使ってないですね。昔のイメージが強いのでは。



JCは、社会人及び経営者としての資質向上に役立つ、各種セミナーを実施します。それにより、お金がかかる事はありません。事業終了時の懇親会費用は自己負担になりますが、自分自身で調整すればよいので、高額な負担がかかる事はありません。又、経営者としてのノウハウ、指導力、人とのつながりをつくるには決して高くありません。



ここで得られる広く深い友好関係は、あなたの将来のためにはお金に代えられるものではないと思います。(入会5年目の飛松より)

Q2

「仕事が忙しく時間がありませんが？」

入会ホヤホヤの吉井です。私も同じ考えです。今はチャレンジあるのみ!!



JCは個人の意見を尊重し合う団体です。無理な強制は致しません。しかしながら、JC活動をしていく中で有意義な時間のコントロールは自然と身についていきますので、仕事とJCの両立は充分可能です。



必殺技 時間を3倍有効に使う方法を伝授します!! (MAX委員長中西より)

Q3

「まだ若い!と親が反対しているんですが」

入会2年目の原田(31才)です。私も親が反対しましたが「JC行くから仕事がおろそかになる事はない」と説得しましたね!



JCは、40歳定年制です。いつまでも籍を置くことはできません。できるだけ早い時期から、人間のネットワーク作りをし、先輩達の経営方法や生き方を学ぶことが、あなたの向上心に広さと大きさを与えてくれるはずです。それにJCに入会するかどうかは自分で決めるものではないでしょうか。



親との関わりは大切です。相談があれば私に!! (公室長後藤まで)

Q4

「自分の会社・個人に何か利益になることがありますか？」

基本的には営利目的で集まっている団体ではありませんので直接の利益はありませんが、会員相互の親睦を深めることによって自分自身の交友関係を広める事が、できます。



JC活動により会社で自分の思いを社員に伝える事が出来るようになり会社が良くなっていると感じております。JCのおかげです。(入会2年目新家(29才)より)

用語の説明

委員会とは

活動の基本となる会議のことで、委員会活動こそ町づくり運動の基礎となるものです。

委員会活動なくしてJCを語ることは出来ません。

JCに入会しますと各委員会に配属され、各委員会の事業を行います。

例会とは

例会は特別の場合を除き、毎月第2水曜日の午後6時半から午後9時まで全メンバーが集まって行われています。

例会では活動報告や意見が述べられます。

例会に出席する場合はスーツ・ネクタイ・ネームプレート・バッジを着用しなければなりません。

総会とは

総会には通常総会と臨時総会があります。

通常総会は1月及び12月に開催され、臨時総会は理事会等が必要と認めた場合に行います。

現行では8月の臨時総会では次年度理事長、監事予定者の承認がなされます。

理事会とは

理事会は総会と並ぶ議決決定機関です。

理事のメンバーが集まり、主に委員会の事業活動の内容を議論、決定します。

またその他にも会議所運営に関する重要な事項を議決します。

三役会とは

三役とは理事長、副理事長、専務理事を指しています。

三役会は理事会の約10日前に開催され、理事会提出議案の整理や資料の取りまとめなどを行います。

青年会議所とはどのような団体ですか

青年会議所は、40歳以下の青年経済人によって組織されるまちづくりとひとづくりの団体です。